

岩手県建設業企業年金基金だより

(令和6年7月18日号)

●理事及び代議員の選出について

任期満了に伴い、基金の理事及び代議員が改選され、次の方々が就任されました。どうぞよろしくお願い致します。

なお、任期は令和6年6月1日から令和8年5月31日までです。

役職	氏名	事業所名	区分	本・支部名
理事長	向井田 岳	刈屋建設株式会社	選定	本部
理事・代議員	海野 尚	菱和建设株式会社	選定	本部
理事・代議員	紀室 裕哉	豊島建設株式会社	選定	本部
理事・代議員	千葉 裕之	栗原建設株式会社	互選	奥州
理事・代議員	小山 裕昭	株式会社小山建設	互選	千厩
常務理事・代議員	菊池 満	岩手県建設業企業年金基金	互選	本部
代議員・監事	山崎 隆司	株式会社山崎組	互選	盛岡
代議員・監事	照井 泰平	株式会社照甲組	選定	花巻
代議員	高橋 清朗	高清建設株式会社	選定	盛岡
代議員	山口 宣久	佐藤工業株式会社	選定	遠野
代議員	須賀 芳也	株式会社佐武建設	選定	大船渡
代議員	山崎 智千	山崎建設株式会社	互選	釜石
代議員	齋藤 大介	齋藤工業株式会社	互選	宮古
代議員	中舘 眞	株式会社中舘建設	互選	二戸

●資産運用委員会の委員選出について

基金では、年金資産運用の基本方針並びに政策的資産構成割合(政策アセットミックス)の策定や見直し、運用受託機関の評価を行うために資産運用委員会を設置しております。委員は次の方々です。

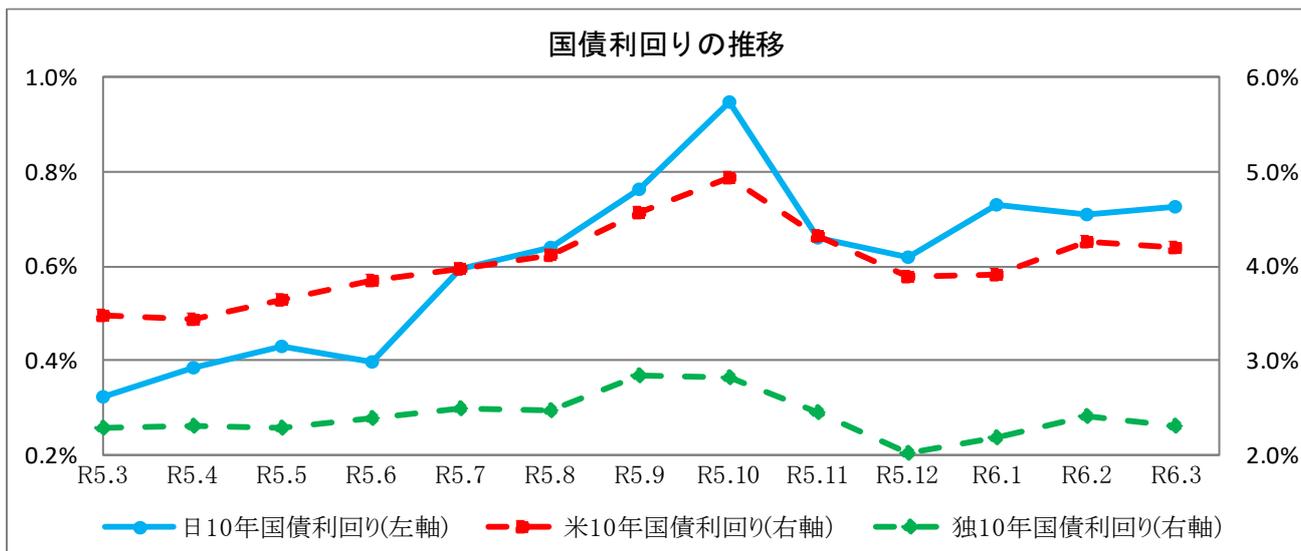
なお、委嘱期間は令和6年6月1日から令和8年5月31日までです。

氏名	事業所名	備考
海野 尚	菱和建设株式会社	理事
紀室 裕哉	豊島建設株式会社	理事
千葉 裕之	栗原建設株式会社	理事
小山 裕昭	株式会社小山建設	理事
山崎 隆司	株式会社山崎組	代議員・監事
照井 泰平	株式会社照甲組	代議員・監事
菊池 満	岩手県建設業企業年金基金	常務理事

●令和5年度の市場状況

国内債券…10年国債利回りは、日銀が7月と10月の2度にわたり金融政策決定会合で許容変動幅を拡大する金融緩和政策の修正を行ったことなどを受けて、利回りが上昇（債券価格は下落）しました。

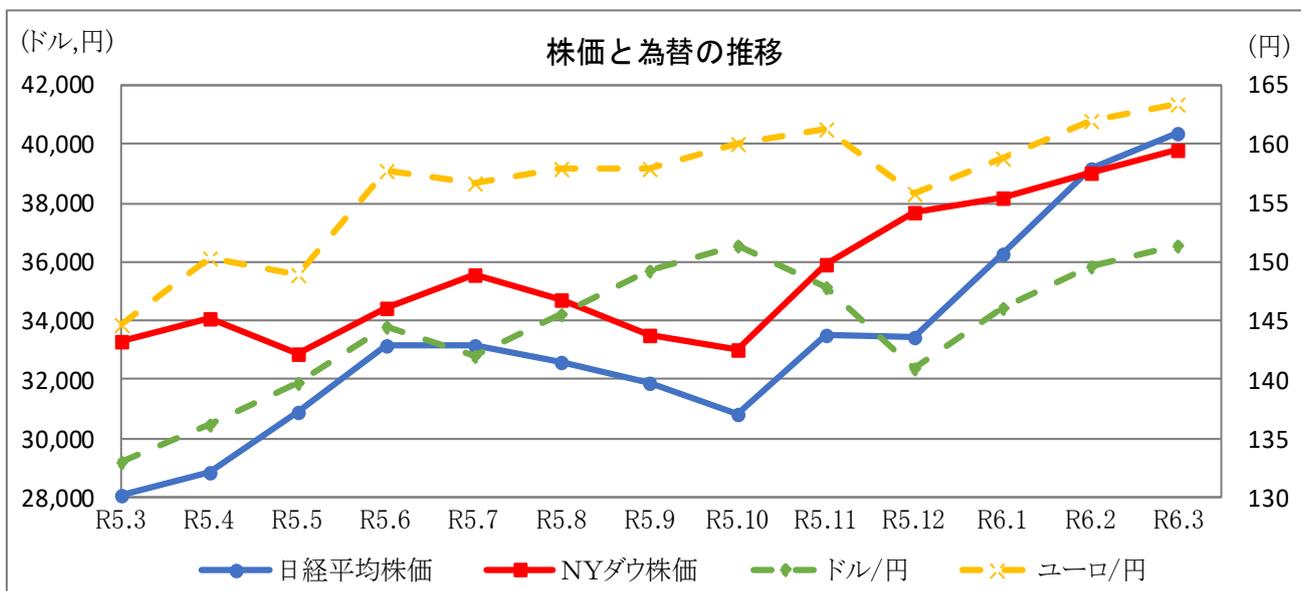
外国債券…米国10年国債利回りは、利上げや2024年の政策金利見通しの引上げによって、10月まで上昇しました。その後は、政策金利の据え置きや政策金利見通しが引下げられたことなどから低下に転じたものの、過度な早期利下げ観測が牽制されたことにより、低下が抑えられて4%台前半で推移しました。



国内株式…年度前半は日銀の緩和的な金融政策や海外著名投資家の日本株買いなどから上昇しました。後半も米国の早期利下げ観測後退に伴う円安進行などから大幅に上昇しました。

外国株式…年度前半は米国のインフレの落ち着きにより利上げ停止が意識されて上昇しました。後半も政策金利据え置きを受けた早期利下げ期待の高まりや企業の好決算から上昇しました。

為替…年度前半は欧米の金融引締め政策の長期化懸念から米国金利が上昇したことを受け円安が進みました。後半は日銀の金融政策修正観測から一時円高となったものの、その後日銀が金融緩和姿勢を維持する旨発表したことから、円安方向へ反転しました。



●令和5年度年金資産運用結果

日銀が金融緩和政策を2度にわたって修正したことなどから、日本国債の利回りが上昇したことが要因となって、国内債券はマイナス収益となりましたが、日銀の緩和的な金融政策の継続や海外投資家の大規模な日本株買い、欧米の利上げ継続による円安の進行から国内株式は大幅に上昇しました。

また、外国株式も米国の早期利下げ期待や企業の好決算が相次いだことから上昇したのに加えて、為替の円安もプラスとなり、大幅に上昇しました。

この結果、総合収益は1,936万円、修正総合利回りは+7.77%と目標収益率1.5%に対して、6.27%も上回る資産運用結果となりました。

なお、令和6年3月末の時価総額は27,726万円と前年同月に比べて3,978万円増加しました。

	総合収益	修正総合利回り	時価総額	構成比	基本アセットミックス	乖離幅
基金合計	1,936万円	7.77%	27,726万円	100.0%	100%	
国内債券	▲199万円	▲1.78%	12,270万円	44.3%	45%	▲0.7%
一般勘定	71万円	0.92%	7,946万円	28.7%	30%	▲1.3%
国内株式	1,107万円	39.83%	3,569万円	12.9%	11%	1.9%
外国債券	164万円	15.04%	1,346万円	4.9%	5%	▲0.1%
外国株式	792万円	38.32%	2,586万円	9.3%	9%	0.3%

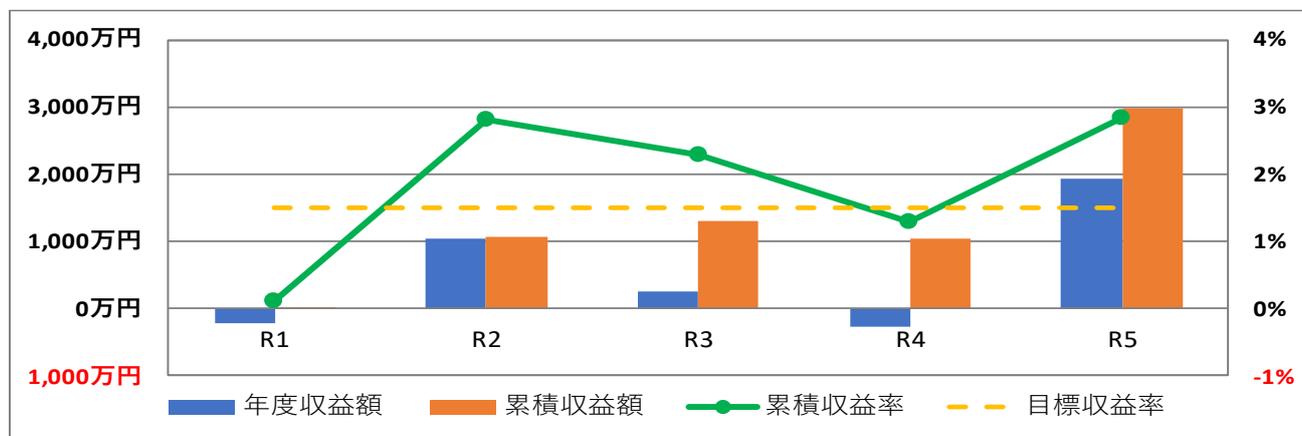
●基金設立以来の運用実績

企業年金は、規約に規定した給付金を将来にわたり確実に支払うため、資産運用の目標である1.5%の収益率を長期的に上回ることが必要となります。

基金設立以来の総合収益の累計額は2,973万円になりました。年率の修正総合利回りは+2.84%と目標を上回っています。

過去5年間の運用実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
総合収益	▲212万円	1,028万円	251万円	▲266万円	1,936万円	2,973万円
修正総合利回り	▲1.81%	6.84%	1.28%	▲1.17%	7.77%	2.84%



●給付の種類ごとの給付の額及び給付設計

確定給付企業年金法施行規則により、毎事業年度1回以上、給付の種類ごとの給付額及び給付設計を加入員に周知することが求められておりますので、掲載いたします。

給付の種類		支給要件	給付期間
老齢給付金	年金	加入期間15年以上で資格喪失した時に年金または一時金を選択(年金は60歳以降)	5年又は10年
	一時金		—
脱退一時金		加入期間1カ月以上15年未満で資格喪失した時	—
遺族給付金		加入期間1カ月以上の加入者、支給繰下者、年金受給者が亡くなった時	—

<給付モデル>

給付の種類	加入期間			
	10年	20年	30年	40年
一時金額	25.2万円	53.1万円	83.9万円	117.9万円
年金額(5年)	—	10.9万円	17.2万円	24.2万円
年金額(10年)	—	5.6万円	8.8万円	12.4万円

●理事会・代議員会合同会議の開催について

7月29日(月)午後1時から岩手県建設会館にて、第16回理事会・代議員会合同会議を開催いたします。主な議案は、令和5年度の事業報告及び決算報告です。

令和5年度は、好調な資産運用によって実質的な剰余が大幅に増加する見込みです。令和6年度も株式市場は、最高値を更新するなど好調ではありますが、日銀の利上げ等から国内債券がマイナス収益の状況です。令和5年度に獲得した剰余を維持・積み増しするため、資産運用の管理に努めて参ります。